

第66回 仏教公開講座

生きるって ということ

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時	2009年12月20日（日）午後6時30分～8時30分		
講 師	太田浩史氏（高岡教区 大福寺住職）		
講 題	『21世紀に生きる念仏』		
日 程	午後6時30分	真宗宗歌・正信偈（同朋奉讃式）	
	6時45分	講 義	
	8時15分	質問の時間	
	8時30分	恩徳讃・閉会	



講師紹介

太田 浩史（おおた ひろし）

1955年、富山県に生まれ。高岡教区大福寺住職。現在、本山同朋会館教導をつとめられる一方。となみ民藝協会会長、日本民藝協会常任理事として、地域の伝統文化の継承や文化の普及を通して様々な町おこしの運動に参画されておられる。

著書に、『柳宗悦と南砺の土徳』『民衆の中で成長した親鸞伝』

先生からのメッセージ

『坂の上の雲』の作家司馬遼太郎は、亡くなる8年前に、小学6年生の国語の教科書のためにメッセージを書きました。

「21世紀に生きる君たちへ

君たちは、いつの時代でもそうであったように、自己を確立せねばならない。

—自分に厳しく、相手にはやさしく—という自己を。

そして、すなおでかしこい自己を。

21世紀においては、特にそのことが重要である。」

このことについて、みんなでいろいろ考えようではありませんか。